

**武庫川** 全長 66km、流域面積 496km<sup>2</sup> 丹波篠山市（真南条）に源流があり、大阪府能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の 7 市 1 町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える 2 級河川である。流域に阪神地帯を抱え流域人口では全国第 10 位である。「武庫川」の名は下流の蓬川の西側が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門（むこみなと）」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。

**武庫川溪谷** 神戸市北区道場地区から西宮市生瀬地区までの全長 14km の武庫川溪谷のうち、特に武田尾から生瀬までの 7km を武田尾溪谷と呼び、武庫川に沿って旧国鉄福知山線廃線跡があり、四季折々の景観の美しさ、生物の多様性から都心に近いハイキングコースとして市民に親しまれています。ほかの河川と異なり、上流にあるはずの溪谷が下流沖積平野（宝塚市街から下流域）の直上にある。

### 武庫川溪谷の自然

**地形** 約 100 万年前に起こった六甲変動と同時期にこの地域も隆起し、これに対抗して武庫川が穿刻し、流路がそのまま残る特異な先行河川が形成された。（兵庫県レッドデータブック 2011 地形 B ランク）、

**地質** 溶融凝灰岩等を主体とする流紋岩類からなり、有馬層群と呼ばれる。これは 1 億年ほど前の白亜紀に火山噴出物が堆積したと考えられている。（同 2011 地質 C ランク）

**自然景観** V 字谷の景観資源的価値と植生の自然価値の両面から評価されて同データブック 2011 自然景観 B ランクに位置づけられる。

**植物群落** 有馬層群特有の貴重な植物が見られる。なお過去から洪水が繰り返し発生する環境であったため有馬層群特有の岩上植物群の他、上流からの移出植物や、近時のハイカーの増加による外来種の侵入などもあり、多種多様な植物が見られるようになってきている。シニア自然大学校でも、自然文化科や植物科、自然と工作科等の定点観測地となっている他、講座部の授業や研究科等観察会にも利用されてきている。

**気温** 阪神近郊に位置するが、気温は 3～4℃低目となる。特に冬季には日陰に氷が張ったり、トンネルの濾水部からツララがぶら下がった光景が見られることがある。

（最近では地球温暖化の影響か暖冬気味でこんな光景はみられないかも・・・）

\*この影響で、武田尾付近右岸ではコゴメウツギやイタヤカエデなど標高が低いにもかかわらず、中間温帯性の樹木が見られる。

**J R 西宮名塩駅** 昭和 61(1986)年福知山線の複線電化に伴い、線路の付け替えが行われ、昭和 61(1986)年新駅が誕生した。名塩ニュータウン、名塩川流域の住宅開発にも対応している。現在は武田尾駅まで 2970m のトンネルで結ばれている。

**名塩** 名塩は武庫川の支流・名塩川がつくる溪谷沿いに開かれた集落である。

地名の由来は定かでないが、15 世紀中頃の史書に当時「内塩」と呼ばれた地名があり、往古この地は塩之原山（有馬温泉）の山内にあり、そこから内塩と呼ばれ、後に名塩となったとも言われている。名塩の厳密な呼称は



西宮市塩瀬町名塩地区といったところだろうか。江戸時代以来、名塩は村中が紙漉きに携わる山合の村だった。1889年（明治22年）の町村制実施の際し、旧・名塩村は旧・生瀬村とが合併し塩瀬村となった。両村の一字を採って村名としたものである。1951年（昭和26年）旧・塩瀬村は旧・山口村とともに西宮市と合併した。

・名塩は江戸時代から名塩和紙で有名である。現在、名塩の集落の真ん中を走る国道沿いには「[西宮市立名塩和紙学習館](#)」がある。名塩和紙にまるわる様々な記録、図表、道具作品が展示されている。

**旧福知山線廃線跡** 旧福知山線は明治32(1889)年阪鶴鉄道として建設、明治39(1906)年国鉄になり、昭和61(1986)年廃線となった。かつて機関車が走っていたJR福知山線廃線敷。武庫川の渓谷沿いに続く約4.7kmの廃線敷は、長らく立ち入りが禁止されていましたが、西宮市などの整備後、2016年に自己責任を原則としたハイキングコースとして一般開放されました。コース内には6つのトンネルや3つの橋などの鉄道遺構が当時とほとんど変わらぬ姿で残っており、桜や紅葉のシーズンには多くの行楽客でにぎわいます。コースは平坦ですが、途中で照明やトイレはありません。特にトンネル内は昼間でも自分の足下も見えないほどの暗闇となるので懐中電灯を必ず持参して下さい。

**旧リバーサイド住宅地** 平成16年10月23号台風の洪水で床上浸水83戸の被害を受け、全戸移転。

**武庫川の石ころ**(伝承) 住吉の大神をめぐる猪名川の女神と武庫川の女神が恋の鞘当てをし、猪名川の女神が身のまわりの石ころを武庫川の女神に投げつけ武庫川に生えていた芹草を一本残らず引き抜いてしまったという伝承がある。(8世紀の住吉大社神代記)

**名塩川** 国見山付近に源流があり、名塩の集落を通り、武庫川に注ぐ。

**どん尻川** 武庫川の支流読売ゴルフ場に源流を持ち、途中で西宮市上水道水源池のどん尻ダムがある。

**高座岩** 渓谷中最大の岩石、竜宮につながるといわれ、雨乞いに岩上に動物の生き血を塗り祈るとこれを流すために雨が降ると伝えられる。

**武庫川ダム計画** 武庫川下流の治水対策として兵庫県が計画・調査したが、その後の見直しで河川整備計画ではダムによらない総合治水を優先し中止された。

**人面岩場** ダム計画地の対岸の岩場は見方によって人や動物の顔に見えることから人面岩場と呼ばれる。

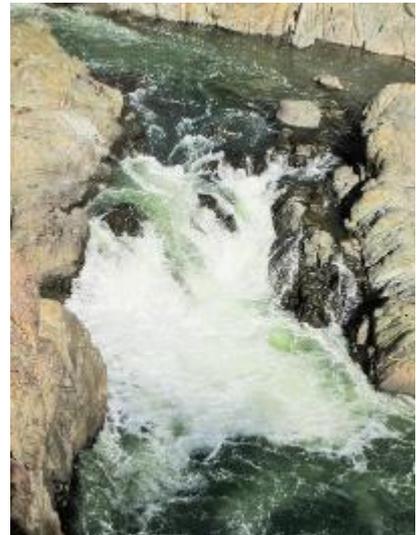
**十国の瀬、十国の滝** 第2北山トンネルの入口から上流が十国の瀬で渓谷最大の瀬である。対岸上部に雨の後にだけ流れる十国の滝（空水の滝）がある。

**第2北山トンネル** 全長413m、コースで最長のトンネルで中がS字にカーブする。年によってはコウモリが越冬する姿が見られる。

**重次郎ヶ淵（鯰ヶ淵）** 1761年名塩の教行寺建造のための木材を武庫川に流して運んでいたが、1本の大木が淵に沈んだのを村民の重次郎が引き上げるために飛び込み、木は浮かび上がったが重次郎は帰らぬ人となった。村人たちは重次郎の名を後世に残すため淵の名とした。

(伝承)

**溝滝** 渓谷最大の滝、雄滝、雌滝がある。両岸から岩石が迫り狭くなった所を流れるので溝滝という。かつては鮎などが昇り、播州の鬮龍灘と並ぶ名風物であったといわれ、駅弁の淡路屋は生瀬駅で生まれ、鮎寿司を販売していた。



**天狗岩** 武庫川第2橋梁から左岸下流の断崖上部に見えるのが天狗岩で、その昔、武庫川の生業を見極めるために天狗が座し、川の繁栄を祈ったという。(伝承)近くにあった仙人岩は阪神大震災のとき川に崩落した。

**親水広場** 桜の園入口前の広場。武庫川の水辺にも降りられ、コース中の休憩所として利用されている。また、付近の樹木には「桜守の会」によって銘板が付されている。

**桜の園「亦楽山荘(えきらくさんそう)」** 面積約40ヘクタール、笹部新太郎氏(1887~1978)の桜の演習林で、最盛時には山桜、里桜が30種5千本が植えられていたという。現在は宝塚市の里山公園。「亦楽山荘」は建物を指すのではなく、演習林全体をさす。現在里山ボランティアグループ「桜守の会」が保全活動を行っている。

**僧川** 「ぼうさんがわ」ともいう。古宝山を源流とし、上流に宝塚市の上水を取水。

**温泉橋** 旧武田尾駅の改札口前の位置にあり、家屋もあったが平成16年10月の23号台風で床上浸水の被害を受けた、さらに平成26年にも浸水の被害にあったことから立ち退き、兵庫県による土地のかさ上げ改修工事が行われた。(現在は大部分駐車場に)

**水管橋** 神戸市水道局千苧水源池から西宮の上ヶ原浄水場への送水管、大正8(1919)年完成、橋脚は近代土木遺産の一つ。

**武田尾温泉** 17世紀に獵師武田尾直蔵が発見したと伝えられる。18世紀中頃には武田尾温泉が金龍湯と呼ばれていたという文献がある。硫化水素をわずかに含有する単純泉。旅館が以前は4軒あったが、右岸の河岸工事で左岸の一軒のみが営業。

(左岸の河岸近くに足湯が解放されている。無料)

**武田尾橋** 吊橋、平成16年23号台風で流失、18年に改築された。

**JR武田尾駅** 80%がトンネルの中にある無人駅。西宮名塩駅との間はトンネルで結ばれる。

(「宝塚市史」、「続羽束の郷土史誌」より)

**武田尾付近** 武田尾付近の山地は「有馬層群」と言われる地層に属します。有馬層群は中生代白亜紀(7,200万年~7,500万年前)にはげしい火山の活動によって地表にふきだしたマグマや火山灰が固まって出来た地層であり、溶岩が固まった**流紋岩**や火山灰が火砕流等で変質した**溶結凝灰岩**から出来ています。

マグマが地下でそのまま固まったのが六甲山地をつくっているのが**花こう岩**です。岩盤を形成する鉱物(長石、石英、雲母等)の組成はほぼ同じですが、前者は非常に堅い岩盤を形成しており、後者は劣化し脆い岩盤となっていますがこれは岩石の結晶構造・大きさの差にあるといえます。(c.f. 六甲山 マサ土)

・なお、武田尾付近の地形は有馬層群で出来た硬い地層の間を武庫川が流れ、侵食による深い溪谷を形成しています。両岸は硬い岩石でできており、処々に露岩がみられます。武庫川はこの山地が源流ではなく、三田盆地の田園部から流下しており、広い川幅を持ち、河岸堆積層を形成しています。武田尾付近の植生は有馬層群特有のもの他、溪流植物、河岸堆積層の植生も見られ多様性に富んでいます。

(本資料は2016年にMNC・平山さんから提供された資料に一部加筆したものです。部内資料扱い)

**武庫川エコハイク  
武庫川溪谷と桜の園**  
JR 西宮名塩駅—JR 武田尾駅

廃線跡で見られる主な樹木  
ナナミノキ、ホソバタブ  
カゴノキ、ケケンボナシ  
カワラハンノキ、キブシ  
フユザンショウ、クマノミズキ  
アブラチャン、ヤマコウバシ  
ダンコウバイ、ウツギ各種  
オニグルミ、イブキシモツケ  
リンボク、サクラ各種・・・

観てみよう冬芽や葉痕  
ブナ科各種  
クマノミズキ、コマユミ  
ジャケツイバラ、クズ  
カワラハンノキ、キブシ  
アブラチャン、オニグルミ  
マルバオダモ、キササゲ  
ノダフジ、ヒメコウゾウ  
ヌルデ、タラノキ・・・

